

富士通 CSL ツイッター業務を総合支援

サポートサービスを開始

富士通コミュニケーションサービス（富士通 CSL、東京都品川区、南昌宏社長）は、ツイッター業務をトータル的に支援するサポートサービスを開始する。

既に複数企業に対し、ツイッター業務の運用などを行っているが、7月から、新規顧客へもサービスを展開していく。

ツイッターをマーケティングやブランディングに活用する企業が増えている。顧客と気軽にコミュニケーションがとれることから、顧客ニーズや潜在顧客の発掘、購入機会の創出につながるなど利点も多い。だがその一方で、内容の検討やアカウントの監視、工数が多く、ツイッター業務にかかりきりになるなど運営には苦勞が絶えない。

同社は、そうした煩雑なツイッター運営を支援する。顧客の目的に応じて運用方針やガイドラインを策定し、日々のツイッターを運営。つぶやきによる情報発信や問い合わせへの回答(リツイート)を中心に行うインフォメーションサービスや、それに加えて、VOCの収集、キャンペーンの実施を行うセールスプロモーションサービスなどを取りそろえる。また、製品テクニカルサービスなど、特定顧客に専任で対応するカスタマサービスも提供する。

同社では、長年培ったテクニカルサービスを強みにサービスを展開していく方針。ツイッター業務のトータル支援を通じて、顧客との接点強化や潜在顧客の発掘、売上げ拡大に貢献する。

電波新聞社様の許諾をいただいて記事を全文掲載しております。